

核兵器禁止条約発効おめでとう パレードに200人以上参加!



県原水協は県被団協とともに22日、「核兵器禁止条約おめでとうパレード」を行い、200人以上が参加しました。パレード前の集会で県原水協の高橋代表理事と県被団協の佐久間理事長は、ともに被爆国日本が果たす役割の重要性を訴え、日本政府が条約に参加するよう署名活動を強めようと強調。今年90歳になる被爆

者の矢野美耶古さんは、菅首相の姿勢方針演説を最初から最後まで見ていたが、条約には一切触れず、とても腹立たしい、と挨拶しました。その後元安橋から本通り商店街を歩いてアリスガーデンまで、核兵器禁止条約がきょう発効したこと、やこれに参加しようとしな



するよう声を大きく上げよう、などと市民にアピールしました。終点のアリスガーデンでは、全員で「条約発効おめでとう」「日本政府は署名・批准を」と唱和し終了しました。

尾道・東広島・福山・安佐北区でも行動



このほか県内では、尾道市（22日）、福山市・東広島市（24日）に街頭行動を実施しました。尾道市原水協はJR尾道駅前

でスタンディングを行い、7人が参加して20筆の署名（写真上）。中・高生がよく署名してくれました。東広島市原水協は生協ひろしま東広島店前で署名・スタンディング宣伝と原爆写真展示、7人が参加して署名38筆（写真右）。広大の学生は、授業はほとんどオン



ラインで大変ですと話していました。また福山市原水協はJR福山駅近くで署名・宣伝。直前までの雨もピタッと止み、通行人の反応もテレビなどの報道もありよかったとのこと。「本当に頭が下がります」と声をかけてきた被爆2世の方は母親が被爆して全身にガンができ、壮絶な闘病生活だったことなどを話されました。またこの行動に参加して

いた全教の先生の教え子の中学生が通りがかり、笑顔で話しながら署名をしてくれました。どこでもテレビなどを見た、という人が多く、小雨降る中での行動としては反応がよかったようです（写真上及び右）安佐北区は口田でスタンディング。被爆者・被爆2世など15人が参加しま





呉原水協も2月6・9行動で頑張ります！

した。(写真左)

広島医療生協は共立病院前でスタンディング。患者さんなどにアピール(写真下)。

三原市原水協は雨のため中止し、30日(土)に実施予定。



被爆7団体・HANWAなどが キャンドルメッセージ



県被団協など被爆7団体やHANWAなどは22日夜6時から「キャンドルメッセージ」。「核兵器は国際法によって禁止された。核なき未来を築くために核被害の根絶・核被害の終焉・連帯の絆

を！」との声明文を公表しました。約100人が参加しました。また、同時刻、「広島子ども・若者たちによる、条約発効を祝い、ヒロシマを継承し、行動を誓う会」が行われ「原爆の子の像」前で小・中・高校生による平和を願う創作劇が上演されました。

